



例年になく大雪で2021年がスタートしました。学校が始まった週末の3連休も降り続き、新発田市がすっかり雪にうもれてしまいました。それでも、生徒は寒さに負けず毎日頑張って登校しています。今回の学校だよりは、学校生活の「節目」に校長先生が話された講話を二つ載せました。

1 / 7 後期後半始業日講話 (新型コロナウイルスと防寒対策として放送室からの講話)

「心のコップを上向きにしよう」



新発田市立猿橋中学校 本間 道夫



新年あけましておめでとうございます。令和三年がスタートしました。新しい年を迎えるということは、気持ちが改まって、何だか「今年も頑張るぞ!」という力がわいてくるようで、気持ちがいいものですね。

去年は、新型コロナウイルス感染拡大など大変なことがたくさんありました。今年はどうんな年になるのでしょうか。

今年の干支は「丑(うし)」です。牛は古くから農業には欠かせない存在で、大変な農作業を地道に最後まで手伝ってくれることから、丑年は「我慢(耐える)」や「発展の前ぶれ」を表す年と言われています。コロナ禍の中、まだまだ我慢が必要な日が続きますが、令和三年が皆さんにとっても、実りの多い発展の一年になるといいですね。

さて、今日は「心のコップを上向きにしよう」という話をします。コップは分かりますね。飲み物を飲むときに使う器で、だいたいガラスでできたものが多いようです。人は、もともと二種類に分かれると思います。それは「心のコップが上を向いている人」と「心のコップが下を向いている人」です。心にはコップがあります。心のコップが上を向いている人は、周りの人の話や学んだ内容、自分に起きた良いことも悪いことも、水を注ぐように心のコップにどんどん注いでいきます。心のコップが上を向いている人は注がれたものをどんどん吸収していくので、生き方や態度・考え方が素直で前向き、そして真剣です。反対に心のコップが下を向いている人は、周りの人のせつかくのアドバイスも耳に入りません。下を向いたコップに水を注いでもこぼれてしまうのと同じで、自分に起きた良いことも悪いことも吸収することができません。だから、いつも何かに対して不満を持っていて、考え方が後ろ向きでやる気がもてません。

心のコップが上向きな人と下向きな人の最も大きな違いは「結果の捉え方」です。心のコップが下に向いている人は結果に対して「どうせ自分には無理」とすべてのことを否定的に考えます。一方心のコップが上に向いている人は、たとえ結果が自分の願ったとおりでなかったとしても「自分をもっとこうすれば良かったのではないか」と素直に反省し、これからのことを前向きに考えます。

つまり、「心のコップ」は、感じ方や考え方といった、その人の生き方に影響を与えるものです。

さて、あなたの「心のコップ」は上向きですか、それとも下向きですか。新しい年の始まりです。ぜひ「心のコップ」を上向きにしたいものですね。後期後半も寒さに負けず頑張っていきましょう。

2021



「節目を大切に」

新発田市立猿橋中学校 本間 道夫

早いもので今年もあと一週間ほどで終わります。令和二年を振り返ってみると本当にいろいろなことがありました。新型コロナウイルス感染拡大のため緊急事態宣言が出され、全国一斉の臨時休校や分散登校など経験したことのない生活を強いられました。

私たちの日常生活においてもそれまで当たり前に行えていたことが当たり前ではなくなり、大きく制限されることになりました。何気ない日常がどれほど大切なものかということ強く実感させられた年でもありました。それでも学校生活を再開し、規模を縮小するなどしながらも体育祭や合唱祭等の学校行事を行うことができたのは、生徒一人一人の感染予防に対する努力のおかげと感じています。来年は一日も早くコロナ禍が終息し、良い年になることを心から願っています。

さて、明日からは冬休みです。そしてまもなくお正月を迎えるわけですが、お正月のおめでたいものといえば、よく「松竹梅」という植物が用いられます。今日はその中でひとつ「竹」についてお話しします。竹は幹の太さが太くても10センチほどですが、背丈は大きいもので20メートル以上になります。しかし、竹は強い風が吹いたり、たくさんの雪が積もっても大きくしなることはあっても、決して折れることはありません。なぜ竹はそんなに強いのでしょうか。それは竹には「節」というものがあるからです。あの節がなければ、強い風や雪の重みでポキンと簡単に折れてしまうのだそうです。ですから、竹にとって、あの「節」というものはとても大切なものです。

皆さんは「人生の節目」とか「節目の時」などの言葉を聞いたことがあると思います。人の生き方においても「節目」というのは大切です。節目、節目で自分の取り組んできたことを振り返ることで、これから自分の進む道が見えてきます。学校生活でいうなら、今日の後期前半の終業日も大切な節目となります。令和二年を終わるにあたって、今日の後期前半終業日という節目を、これまで自分が取り組んでいたことを振り返り、自分なりに頑張ったことや、もう少し頑張れたんじゃないかなということ、そしてこれから自分がどんなことを頑張っていくのかを改めて考える機会にしてほしいと思います。

それでは、まもなく令和二年が終わります。よい年末年始を過ごし、新年1月7日には全校生徒が元気に顔を合わせましょう。

『後期学校評価アンケート』の結果と改善策 ①

後期学校評価アンケートの結果を受け、改善策を整理しました。今年度の締めくくり並びに次年度の学校運営に生かしていきます。今号及び次号に分けて、保護者の方や地域の方にもお伝えいたします。

今回は『学習』についてです。

※評価A:肯定的な回答 80%以上 B:60%以上 C:60%未満

評価項目1:「互恵的に学び、共に成長できる生徒の育成」に関する質問で、肯定的評価を示す生徒が80%以上になる。

◇生・設6

「授業中、わからない時、友達に聞くことができましたか」



評価A	7月	今回
全校	89%	86%
1年生	84%	81%
2年生	91%	87%
3年生	91%	92%

◇生・設7

「授業中、わからない人に全力で答えることができましたか。」

評価A	7月	今回
全校	83%	82%
1年生	82%	78%
2年生	82%	81%
3年生	85%	90%

◇生・設8

「グループ(ペア活動含む)の学習活動で、友達に説明したり、また友達の考えを聴くことで、より考えや理解が深まることができましたか。」

評価A	7月	今回
全校	89%	91%
1年生	89%	91%
2年生	87%	88%
3年生	89%	94%

【分析と来年度に向けて】

○設問6・7 学び合う授業「聴き合い」「支え合い」に関連

- ・全校の結果は、どちらも7月を若干下回っているが、昨年度の11月と比べると同じかまたは上回っており80%を超えている。
 - ・3年生は、いずれも数値が上がっており、特に設問7は、5%上がっている。
- 生徒同士で「聴き合い・支え合い」ができる学びの基礎が構築されていることと、互いに伸びようとする前向きな姿勢がうかがえる。

職員設問3「わからない、と生徒が声を出しやすい雰囲気やその生徒に全力で応える生徒の支援等に、意識して取り組みましたか」では7月の81%から11月92%が上がっている。新型コロナ禍においても、互いに学び合う生徒の姿を大切に、「聴き合い・支え合い」ができる工夫した授業実践を継続する。

○設問8 学び合う授業「学び合う」に関連

- ・どの学年も7月より、高い数値となっている。
 - ・職員設問4「ジャンプ(発展的)の課題を有効に設定・提示し深い学びを目指した」では7月より7%上がっている。
- ペア又はグループ活動を通して、多くの生徒が考えや理解を深めるところができた実感している。数字が上がったのはジャンプの課題を意識し提示してきたことや場面に応じたペア又はグループ活動を有効に行ってきたことも要因と考える。今後もジャンプの課題を教科内で共有し、有効に活用していく。そのためにも、校内研修や教科部会での意見交換や情報交換を十分に行う。また、生徒にどのような力を付けてほしいのか、どのように評価していくのかを明確にし、提示することで生徒と教員で共有を図っていく(全体・各教科)。

評価項目2:「家庭学習時間は1時間以上」と答える生徒が80%以上になる。

◇生・設23

「家では1週間を平均して、1日どのくらい勉強していますか(宿題、学習塾や家庭教師との学習等を含む)」

評価B	7月	今回
全校	73%	78%
1年生	84%	73%
2年生	64%	69%
3年生	71%	92%

【分析と来年度に向けて】

- ・全校の結果は7月を5%上回っている。
 - ・学年が上がるにつれて、数値が上っている。
- 1年生は家庭学習と部活動をどのように両立していくかが課題で、例年よく見られる傾向である。2年生は、受験教材への取り組み、3年生は受験生としての自覚が数値を上げていると考える。家庭学習の目的や目標、取り組む内容を明確にしていくことが重要である。

そのために各教科の次時の学習内容、持ち物や宿題の内容等を生徒に確実に伝わるようにする。終学活時に生活ノートに確実に記入し、宿題や自主学習についても取り組む時間帯を明記し、家庭学習をプランニングする場を確保する。

次年度の始めに、特に新入生にはどのように家庭学習に取り組むか丁寧に説明をする。(全体・各教科)

ボランティア活動（生徒玄関清掃）

昨年末、最後の登校日となった12月25日(金)にSHIPsのメンバーとボランティアの生徒が生徒玄関の清掃を行いました。冷たい風が吹く中でしたが、一人ひとりが熱心に活動に取り組みました。2020年も猿橋中学校のよき伝統、ボランティア精神が発揮され締めくくることができました。



丁寧に掃き掃除・拭き掃除



最後はみんなで記念撮影！

来年度に向けて準備着々！！

2021年がスタートし、生徒会活動を次年度に引き継ぐ準備が着々と進んでいます。今年度の生徒会活動を締めくくる第2回生徒総会に向けた学級審議や2年生を中心に各専門委員長の選出などが行われています。また、すでに昨年行われた生徒会役員選挙で当選した本部役員が校長室を訪れ、改めて決意を述べるとともに、校長先生からは目指してほしい生徒会像のお話と激励をいただきました。



校長室で校長先生と懇談



最後の生徒総会に向け3年生学級審議

2月の予定

- | | |
|-------------------------------------|---|
| 1日(月) テスト前諸活動停止期間(4日まで)
すこやかあいさつ | 11日(木) 祝日 建国記念の日 |
| 2日(火) 質問教室① 節分(今年は特別です) | 12日(金) 短縮 |
| 3日(水) 質問教室② | 15日(月) 専門委員会 救急救命講習(2年生) |
| 4日(木) 期末テスト① 給食→終学活→下校 | 16日(火) 木曜授業 |
| 5日(金) 期末テスト② 拡大生徒協議会 | 18日(木) 生徒朝会(専門委員長委任式) |
| 8日(月) 心のアンケート | 19日(金) 救急救命講習(2年生) |
| 9日(火) 全校朝会(放送) | 22日(月) 救急救命講習(2年生) |
| 10日(水) 短縮 生徒総会(放送) | 23日(火) 祝日 天皇誕生日 |
| | 26日(金) 短縮 生徒会アワー(3送会)
※新型コロナウイルス対策のため保護者の皆様の参観は御遠慮いただきます |

※新型コロナウイルス等に関連し変更等が生じることがあります。御理解、御協力をお願いします。